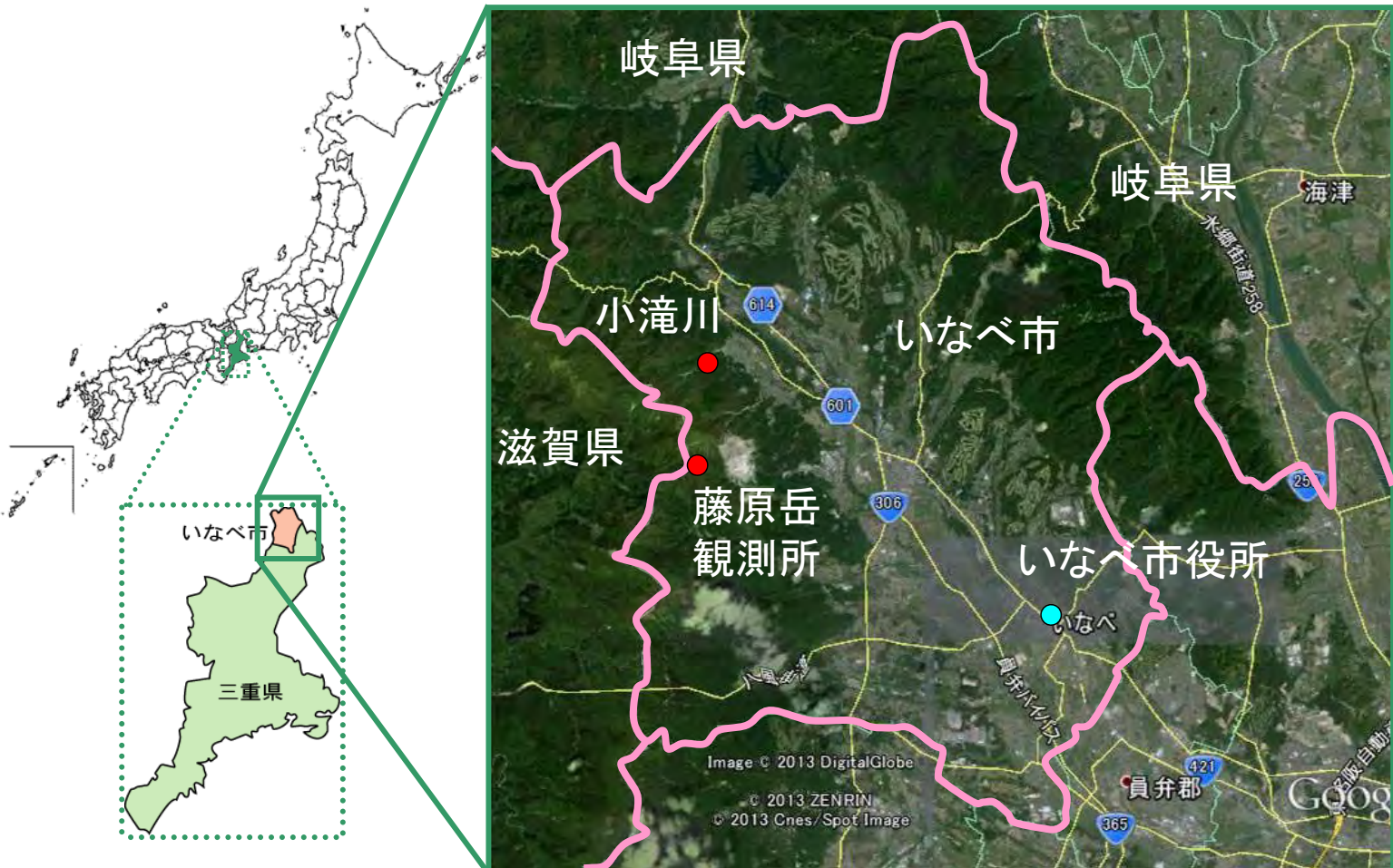


市民を守った 砂防施設と防災対策



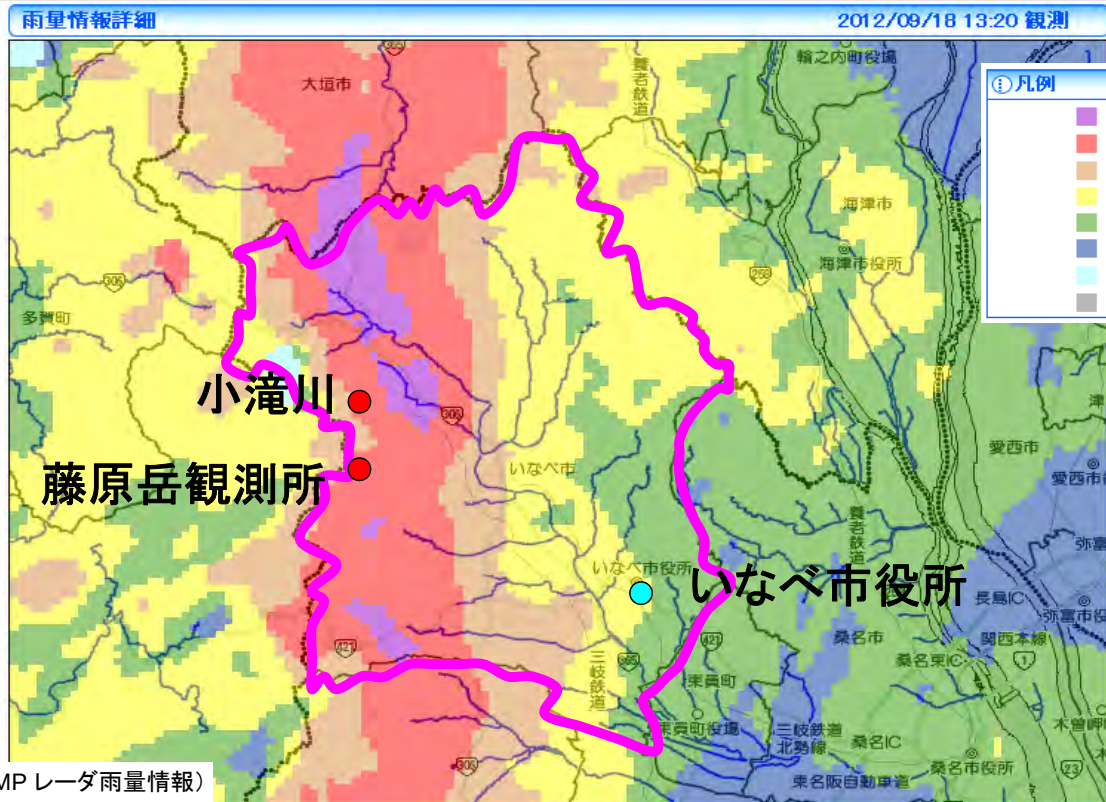
三重県いなべ市長 日沖 靖

いなべ市



平成24年9月18日の豪雨

発達した積乱雲が鈴鹿山脈沿いに集中豪雨をもたらした
藤原岳観測所 2日間雨量570mm、最大時間雨量96mm



小滝川の遊砂地に流れ込む土石流

平成24年9月18日 動画70秒

いなべ市民を守った砂防施設



小滝川遊砂地

平成24年9月18日16時25分

いなべ市民を守った砂防施設



小滝川遊砂地

平成24年9月18日16時21分



平成25年11月8日

いなべ市民を守った砂防施設



小滝川4号堰堤
平成24年9月18日12時18分



平成25年6月17日

いなべ市民を守った砂防施設

坂本地区(151世帯442人)



小滝川1号堰堤

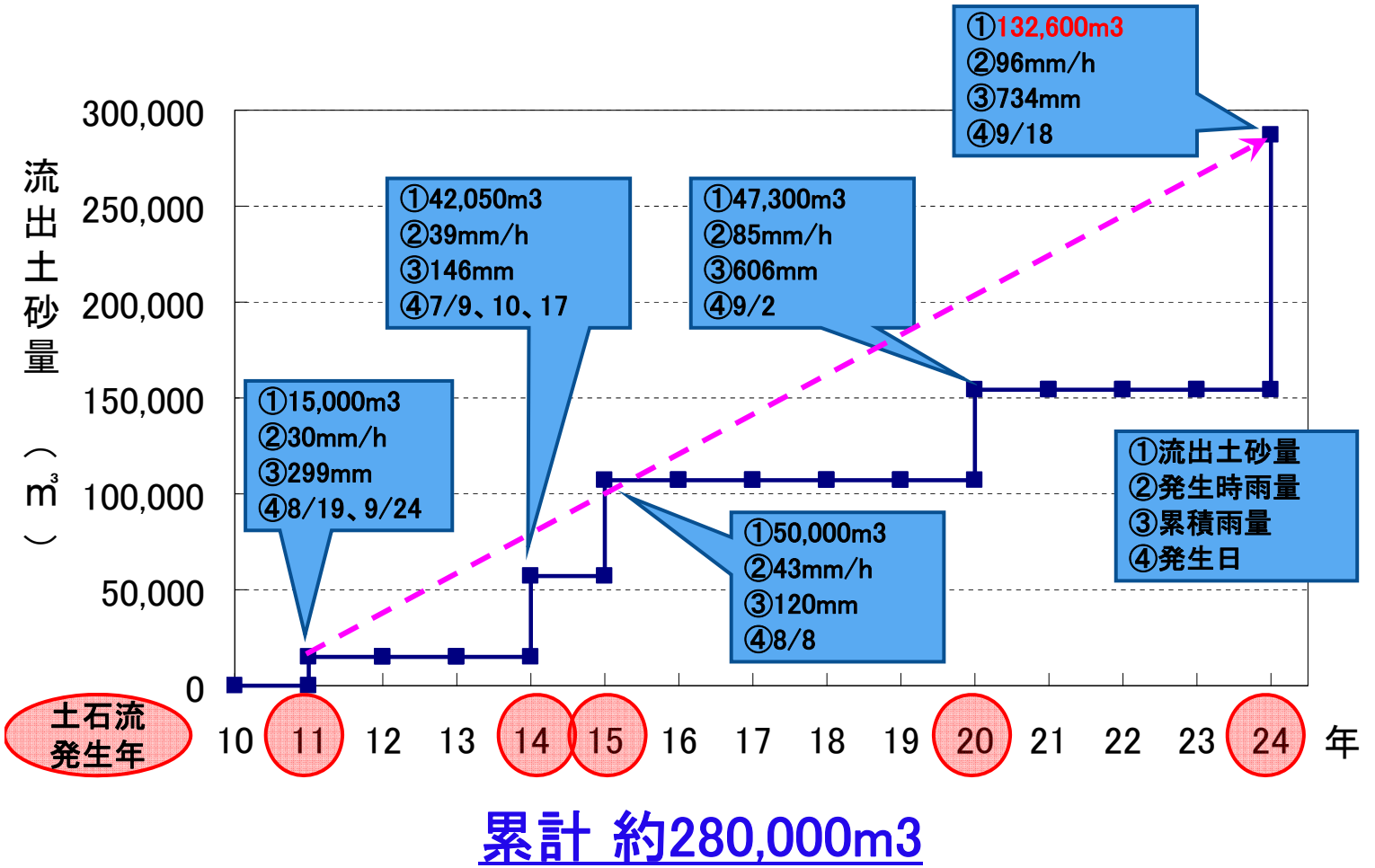
遊砂地

平成24年9月19日



平成25年11月7日

土石流が運ぶ土砂量(小滝川(流域面積 2.7km²))



土砂災害を想定した防災訓練

災害時用援護者の避難訓練



防災講演



2013年4月 いなべ市藤原町坂本地区

国土交通省の支援、協力



降雨体験施設、排水ポンプ車の展示、防災パネル展示
協力：中部地方整備局木曽川下流河川事務所
北勢国道事務所、多治見砂防国道事務所
(2013年10月 いなべ市市民感謝祭)

三重大学等との連携

自記雨量計



土石流実験装置(三重大学)の
デモンストレーション
(2013年10月 いなべ市市民感謝祭)



ビデオカメラ

ソーラーパネル

土石流画像撮影装置(三重大学開発)
の小滝川遊砂池への設置(準備中)
(三重大学、三重県桑名建設事務所と連携)

※一定の雨量でカメラが起動し、携帯電話
網を通じて映像を確認



中山間地の防災を考える IN TOKAI
(2013年1月 全国治水砂防協会等主催)



コミュニティ雨量計／水位計の設置
(コミュニティ早期警報促進同好会と連携)

みんなでつくる わたしたちの いなべ市

小学校3・4年生社会科副読本



土石流をふせぐための取り組み

藤原町で起こるきけんがある土石流をふせぐために、次のようなことをおこなっています。

- ・えんていをつかって、土やすな、石などが流れるのをふせいでいる。
- ・運砂地をつかって、土やすな、石などをためるようにしている。
- ・ワイヤーセンサーを取りつけて、土石流が発生すると、知らせがくるようになっている。
- ・カメラを取りつけて、24時間かんししている。



大雨によって発生した土石流



土・すな・石をせき止めるえんてい



運れた土・すな・石をためる運砂地

市役所のぼうさいたんとうの人の話

さい害をふせぐためには、「国・県・市などが取り組む」「人びとがお互いに助け合う」「自分で自分の身を守る」の三つのことが大切です。その中でも、とくに、「自分で自分の身を守る」ことが大切です。

ふだんから、さい害がおこったときにどうするかを、家の人といっしょに考えておいてください。そして、さい害にそなえて、それぞれの家でひじょう食などのじゅんぴもしておきましょう。

さい害にそなえて、ひなん方法やひなん場所を家族で話し合っておくことが大切だね。





終

三重県
いなべ市

四季彩が奏でる
大自然のシンフォニー
ゆったり、ふらり、のんびり、わいわい
・・・いなべの顔



<http://www.city.inabe.mie.jp/>